

人生を生き抜く神の知恵

ティモシー・ケラー

～三浦グリーンチャペル訳～

前半

<1月1日～6月30日>

God's Wisdom for Navigating Life

Timothy Keller

With Kathy Keller

友のしるし

シリーズ～神の知恵～

2019/6/23

他者を知る 6/13~8/10

- 友情 6/13~18
- 言葉 6/19~7/12
- ゴシップ 7/13~15
- 聴くこと 7/16~24
- 対立 7/25~8/10



友の大切さ

友の振りをする友もあり／兄弟よりも愛し、親密になる人もある。(18:24)

○友だちという関係の大切さ

- 「家族がいても仲が悪い、理解し合えていないこともあります。長年パートナーや配偶者がいない人生を過ごしている人もいるでしょう。しかしながら、友は長年にわたって付き合い、血縁の「兄弟よりも…親密になる」ことがあるのです」TK

○関係は自然に深まらない

- 「直接共に過ごした時間を通して意図的に深められていくべきものです」TK



友のしるし① 変わらないこと

どのようなときにも、友を愛すれば苦難の時の兄弟が生まれる。(17:17)

○ほとんどの関係は“打算的”

- 「高貴な人の好意を求める者は多い。贈り物をする人にはだれでも友になる。」(19:6-7)
- 経済的・社会的・感情的な利益がなくなると離れていくのは本当の友ではない

○困難な時こそ愛する

- 「何もお返しできないときでも支えてくれるのが友」
- 真の友情を育てるには時間がかかるが、私たちの時間は限られているので、**本当の友は多くない**



友のしるし② 透明性

愛する人の与える傷は忠実さのしるし／憎む人は数多くの接吻を与える。(27:6)

○“忠実さのしるし”としての傷

- 真の友は「耳が痛い」ことであっても言い合える
- 「もし言うべきことを恐れて何も言えないのなら、あなたは友の魂の敵です」TK

○本当の自分を教えてくれる存在

- 他者の視点なしに自分自身を知ることはできない
- 自分の本当の姿を知ることは恐ろしいが、それを可能にしてくれるのが本当の友(愛する人)である
- 隠し事の多寡が友情の深さでは？



友のしるし③ 気配り

友人への祝福も、早朝に大声でするなら／それは呪いと見なされる。(27:14)

○心を通わせる

- “相手の立場に立つ”ことは難しいが、それを教えてくれるのが友である(ダメ出しをしてくれる)

○友情はとても価値のあるもの

- 「友情は男女の関係のようにロマンチックではなく、家族との関係のように選択の余地がないわけではない。だからこそ価値がある。なぜなら、友とのつながりは思慮深く、自発的なものであるから」TK



友のしるし④ 助言

鉄は鉄をもって研磨する。人はその友によって研磨される。(27:17)

○助言し合うことで成長する

- 「相手がどのように変わるべきか提案をしながら、友達同士で「**研磨**」し合い、刺激し合っていく」TK

○友情の視点を他の関係にも取り入れる

- 助言し合える関係は友ならでは
- 互いに助言し合える関係を、夫婦や家族に取り入れるならば、互いに成長することができる
- ネット上では、無責任な肯定(いいね!)と批判が交わされるだけなので、真の友情は育たない



信仰の友

香油も香りも心を楽しませる。友人の優しさは自分の考えにまさる。(27:9)

○友人の優しさは努力して造り出すもの

- 箴言の時代『甘み』は作り出すのではなく、探し出すものだった。「友人の優しさ」も同様
- 「共に努力して、変わらぬ信頼性を高め、隠しだてなく、心を配り、助言し合う」中で生まれる

○信仰の友の重要性

- 「真理を求めない人とは何も分かち合うことはできない、どこにも行こうとしない人が旅の友となれないように」(C.S.ルイス) > **信仰の友を大切に!**



真の友、イエス・キリスト

○ 変わらない

- 「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」マタイ28:20

○ 透明性

- 「かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になられました。」フィリピ2:7

○ 気配り

- 「彼は傷ついた葦を折らず、くすぶる灯心を消さない。」マタイ12:20

○ 助言

- 「わたしはあなたがたを友と呼ぶ。父から聞いたことをすべてあなたがたに知らせたからである。」ヨハネ15:15

